

11月12月講座 石膏プログラム

布のひだや髪の流れ等、細部表現を迫られるが、気にせず大きく捉えないと細部が目立ち立体感がなくなる。

細部は目立つものから処理して、よく見えないところはあえて描かないのがコツ。

目が単純なカーブに見えるので
葉っぱ型の目になりやすい。

しっかり面を作ることが大切。



パジヤント

Pageant

11/2~

12/28

ギリシャ時代、ヘレニスティック期（前3世紀）に作られた。本物はベルサイユ宮殿の外壁面に設置されている。一般のローマ人彫刻で似た様な像がたくさん存在する。ポーランドでは「パジェント」という宗教的行進を行っているため、パジヤントという名は像の名前ではなく儀式的演出の出し物を見せる展示会名だと思われる。つまり、パジヤントのムーブマンはゆっくり行進している様子ということになる。顔半分は微笑んでいて、半分は神聖な顔つきなのも宗教的儀式的行進と考えれば説明がつく。

